

| 一般会計および特別会計予算額  |                |                |       |
|-----------------|----------------|----------------|-------|
| 区 分             | 令和7年度<br>当初予算額 | 令和6年度<br>当初予算額 | 増減率   |
| 一般会計            | 507億6,000万円    | 478億2,100万円    | 6.1%  |
| 特別会計            | 268億3,927万円    | 267億4,626万3千円  | 0.3%  |
| 国民健康保険<br>特別会計  | 114億2,273万9千円  | 118億2,447万2千円  | △3.4% |
| 後期高齢者<br>医療特別会計 | 39億7,661万6千円   | 38億6,217万6千円   | 3.0%  |
| 介護保険<br>特別会計    | 114億3,991万5千円  | 110億5,961万5千円  | 3.4%  |
| 合計              | 775億9,927万円    | 745億6,726万3千円  | 4.1%  |

| 下水道事業会計予算額 |    |                |                |
|------------|----|----------------|----------------|
| 下水道事業会計    |    | 令和7年度<br>当初予算額 | 令和6年度<br>当初予算額 |
| 収益的収支      | 収入 | 24億3,899万2千円   | 23億2,482万8千円   |
|            | 支出 | 24億275万円       | 22億9,059万3千円   |
| 資本的収支      | 収入 | 14億4,168万3千円   | 9億9,975万6千円    |
|            | 支出 | 20億4,171万7千円   | 16億4,335万2千円   |

| 基金の状況           |                 |                 |               |                     |
|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|---------------------|
| 区分              | 令和7年度末<br>現在高見込 | 令和6年度末<br>現在高見込 | 増 減 額         | 備 考                 |
| 財政調整基金          | 19億5,647万2千円    | 33億4,615万8千円    | △13億896万6千円   | 繰入金<br>13億9,155万4千円 |
| 減債基金            | 8,400万6千円       | 1億6,702万1千円     | △8,301万5千円    | 繰入金<br>8,334万9千円    |
| 特定目的基金          | 59億7,569万6千円    | 58億9,336万2千円    | 8,233万4千円     |                     |
| 郷土美術館<br>建設基金   | 1億7,769万9千円     | 1億7,618万3千円     | 151万6千円       | 繰入金 0円              |
| みどりの基金          | 8億9,280万4千円     | 8億5,110万6千円     | 4,169万8千円     | 繰入金 0円              |
| ふるさと<br>創生基金    | 6,887万3千円       | 6,873万5千円       | 13万8千円        | 繰入金 0円              |
| 公共施設等<br>整備基金   | 29億5,690万円      | 31億4,492万2千円    | △1億8,802万2千円  | 繰入金<br>1億9,620万円    |
| 自転車等駐車<br>場整備基金 | 3,458万4千円       | 7,623万1千円       | △4,164万7千円    | 繰入金<br>4,179万9千円    |
| 教育振興基金          | 2,252万9千円       | 2,248万4千円       | 4万5千円         | 繰入金 0円              |
| 都市計画<br>事業基金    | 18億634万4千円      | 15億3,114万7千円    | 2億7,519万7千円   | 繰入金 0円              |
| 森林環境<br>譲与税基金   | 1,596万3千円       | 2,255万4千円       | △659万1千円      | 繰入金<br>663万6千円      |
| 合計              | 80億1,617万4千円    | 94億654万1千円      | △13億9,036万7千円 | 繰入金<br>17億1,953万8千円 |

※△はマイナスを表します

# 予算特別委員会での審査

令和6年度一般会計補正予算案（第15号）および国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の3特別会計補正予算案、令和7年度一般会計予算案および3特別会計予算案ならびに下水道事業会計予算案は、予算特別委員会でも5日間にわたり審査されました。

本面上段では委員会での審査概要、4・5面上段では歳出を中心とした主な質疑の内容をお知らせします。

予算特別委員会では、6年度補正予算案の審査、7年度当初予算案の総括説明および説明に対する質疑、歳出を中心とした審査が行われました。

7年度予算編成に当たって、選ばれる市になるため、市の発展に資する「新しい魅力」の創出と「ウェルビーイング」の向上、「あんしんして暮らせるまち」に結びつくさまざまな取り組みを推し進めており、引き続き、所信表明で示した3点の事項を重点的取り組みとして編成方針に示し、進めていくこととしています。

基本方針として、①歳入については、経済情勢を的

分に精査した上で要求することなど2項目、④基金の活用等については、財政調整基金は、災害発生時や年度中の資金繰りに備え一定額の積み立てが必要であることを考慮し処分規定に沿って適切に活用することなど2項目、⑤各特別会計の予算編成は、一般会計に準じて適切に見積もること、などが掲げられました。

7年度一般会計予算案は、歳入歳出それぞれ50億6千万円で前年度比29億3900万円、6.1%の増、3特別会計と合わせた総額は75億9927万円、前年度比30億3200万7千円、4.1%の増となりました。下水道事業会計は、収益的収支のうち収入が24億3899万2千円、支出が24億275万円、資本的収支のうち収入が14億4168万3千円、支出が20億4171万7千円となりました。

## 令和7年度予算案に対する各会派の意見表明・賛否討論(要旨)

3面～5面上段に掲載した予算特別委員会の審査を経て、3月26日の本会議で令和7年度予算案に対する各会派（議長を除く）の意見表明・賛否討論が行われました。3面～5面の下段で要旨を掲載します。各会派の賛否は8面をご覧ください。

### 自民クラブ

### 本市の50年先を見据えた予算編成に賛成

富田市長が市長に就任されてから3年余りが過ぎ、任期最終年度に当たる予算である。社会保障関係費が増大する極めて厳しい状況の中、さらなる市民の高齢化と既存の公共施設の老朽化が同時に進行しており、公共施設の設備関係等に多

大な費用がかかる故障も発生している状況で、これまでと同様の体制では市民サービスの維持もできなくなること容易に予測され、市政運営については、公共施設の在り方、市民サービスの提供体制の在り方は、現実を直視し、これからの時代に即した持続可能なものに変えていく必要がある。

令和7年度予算の一般会計の財政規模は50億6千万円、令和6年度の予算額と

### 公明党

### 将来への礎を築くための予算を評価！

令和7年度予算は、富田市長にとって任期最終年度、集大成の予算。

令和7年度一般会計予算は50億6千万円で、前年度比29億3900万円、6.1%の増、一般会計と3特別会計を合わせた総額は75億9927万円で、前年度比30億3200万7千円、4.1%の増。

歳入では、市税全体として令和6年度当初予算額との比較では11億2487万3千円、6.7%増だが、法人市民税は令和6年度当初と比べ102万2千円の減であり、前年度より5千万円以上減となった市たばこ税よりさらに2千万円以上低く、本市の長年にわたる特徴であり、大きな課題。

歳出では、民生費が、児童手当や障害福祉サービス費、保育運営費（管内）の増等により、対前年度比14億8424万4千円、5.6%の増、教育費が、小山小学校増改築工事、学校給食費補助金、校内ネットワーク整備委託、中学校給食調理等業務委託の増等により、対前年度比18億3624万円、38.3%の増。財政が厳しい中、未来型市役所実現に向けた基本計画策定や市役所窓口キャッシュレス決済機能導入、ボール遊びのできる公園整備、不登校対応校内分教室の設置など重点事項に係る事項も着実に進められていくものと認識。予算規模は過去最大だが、

### 日本共産党

### 暮らしに思い寄せたのか疑問

一般会計予算について、市民の暮らしが厳しさを増

とを要望する。

基金の取り崩しは大きく行われ、市債の借入れも増となったが、税収および国の地方交付税の増もあった。未来志向の公共施設マネジメントの推進、効率性・利便性を高めつつ行政コストを削減し、生産年齢人口減少への対応と社会保障サービスの維持のためのDXの推進、こどもたちが伸び伸びと健やかに育つ未来をつくるための投資等、厳しいながらも次の50年を見据えた予算編成が行われたことは高く評価する。

以上を申し上げ、一般会計予算に賛成、3特別会計予算および下水道事業会計予算は、特に意見を申し添えることなく賛成する。

予想を上回る物価高騰の影響や扶助費の増加のみならず、国庫支出金は前年度比約2億8千万円、都支出金も約10億9千万円増となり、児童手当の拡充や高校生世代への医療費助成も本年10月からは所得制限がなくなるなど、国や東京都の政策と連動して増加する部分もあり、理解する。

以上申し上げ、一般会計予算に賛成し、3特別会計予算、下水道事業会計予算については、特に意見を付すことなく賛成する。

おける計画的な補修、⑤地域手当について多摩26市の状況を把握し遜色のない水準とすること、⑥中央図書館運営を直営に戻す検討、